

令和5年度 リーダー研修会

8月24日(木)に首里中学校リーダー研修会が行われました。首里中生徒会約100名(生徒会総務、各種委員会委員長・副委員長、中央委員、各学級代表2名)が参加しました。

【リーダー研修会ガイダンス:7月14日(金)】

ガイダンスは、リーダー研修会に向けて、ねらいの確認、各班の顔合わせ、係決めなどを行いました。わずかな時間ではありましたが、首里中のリーダーとして1人1人が自覚を持って参加していたため、スムーズに会が進行し、リーダー研修会に向けてのよい1歩となりました。



リーダー研修会・本研修

【開講式】

開会式では、リーダー研修会のスローガン「つなぐ」が発表され、参加者全員で、スローガンに込められた想いを皆で確認しました。スローガンへは「リーダー研修会に参加する生徒同士を『つなぐ』、生徒会与学級を『つなぐ』、生徒と先生方を『つなぐ』という意味が込められていました。また、各研修で、集結・団結するために、様々なものを「つなぐ」ことを意識して、共によりよい首里中学校を造っていこうと皆で確認を行いました。



【研修1】 研修1「集結! 団結! レクレーション!」 講師: 上地 幸市先生

研修1では、講師の上地幸市先生と共に、班のみんなの心を一つにするために、「折り句で自己紹介」と「ローソクの灯火」を参加者全員で行いました。

「折り句で自己紹介」は、自分の名前の1文字1文字を利用して、自分についてあいさつをしました。難しさがありながらも、「楽しい!」という声もあり、とても楽しい研修になりました。3年主任の太田先生の折り句で会場が盛り上がる一幕もあり、笑顔でスタートすることができました。

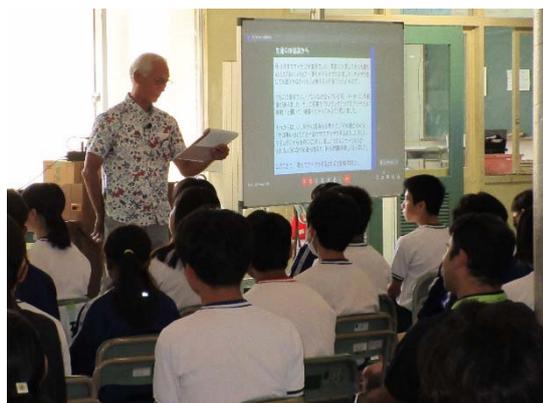


「ローソクの灯火」は、グループの1人ひとりが心の灯をともすために、素早く慎重にを意識しながら、頑張っていました。



【研修2】「意識を変え行動を変えるワンランクアップのあいさつ」 講師: 上地幸市先生

研修2では、日頃行っているあいさつに相手が嬉しくなるような一言を付け足したり、相手の気持ちを考えた言葉選びをしたりする「ワンランクアップなあいさつ」の極意を上地先生が教えて下さいました。



【研修3】「よりよい人間関係を築こう」 講師:新城高広校長先生

研修3では、ドラえもんキャラクターや、首里中生による英語スキットに出てくるキャラクターを加害者、被害者、観衆、傍観者のうち、どの立場にあてはまるのかを皆で考えました。この研修では、自分はどの立場になりそうか、いじめを止めるにはどうするのが最適か考えることができ、「いじめをなくしたい」という皆の思いがつながりました。



【研修4】「よりよい首里中集団にするために」班会・全体会

研修4では、研修3の校長先生の講話から学んだことを、さらに深めるため、班で話し合いを行いました。いじめの傍観者にできることはないか、被害者・加害者・傍観者の周りにいる人ができることは何か、観衆にならないために、どうしたら良いかについて考えました。班は、リーダーを中心に話し合いをすすめ、各班、首里中生として具体的に何ができるかをまとめました。

〈班会〉



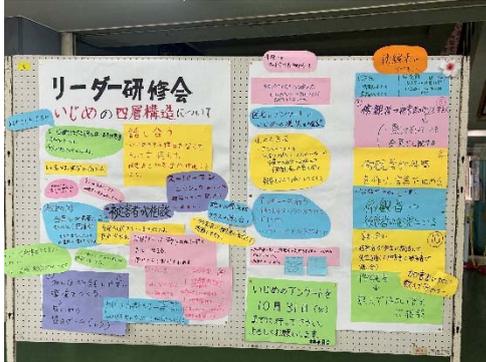
〈全体会〉



リーダー研修会後の取り組み

I 「よりよい首里中集団にするために」

(1) 掲示物の作成・掲示



(2) いじめのアンケート作成・実施

新) 2年 いじめに関するアンケート

生徒会では、リーダー研修会で「よりよい首里中集団にするために…」ということについてみんなで考えました。そこで、今回、首里中の実態把握のために、このアンケートを実施します。そこで、このアンケート結果をもとに、学級会を開き全校生徒で「いじめ」について考えていきたいと思います。皆さんの正直な回答をよろしくお願いいたします。

※このアンケートは、このフォームで集計するので、誰が書いたかなど、個人の特定はしません。

安心して、答えて下さい。

j2t3@naha-okinawa.ed.jp アカウントを切り替える

共有なし

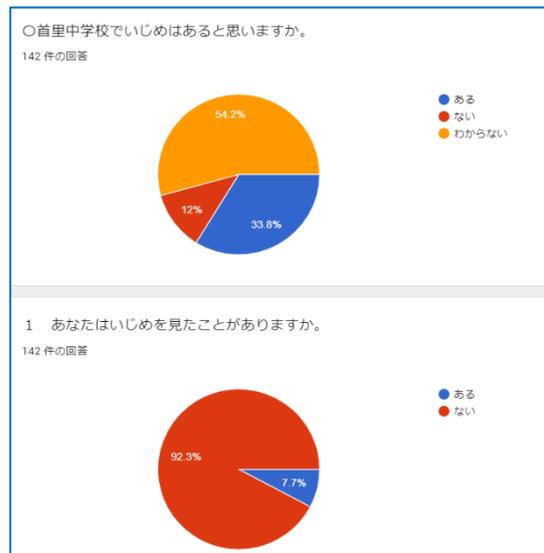
* 必須の質問です

○首里中学校でいじめはありますか。*

ある

ない

わからない



(3) 学級会の実施

2 あいさつ運動について

(1) あいさつ運動の実施

あいさつ運動では、「ワンランクアップなあいさつ」をしたことによって、会話が広がってコミュニケーションが楽しかったり、意識が変わって行動できるようになったと実感する生徒が大勢いました。



(2) 小学校へあいさつ運動の呼びかけ(掲示物の共有)

